

令和5年度 社会福祉法人龍鳳 経営計画

法人の ○強み ●弱み

- 入所・生活介護・就労支援の施設を運営、多機能なサービスが提供できる。
- 人材育成を常に推進、職員意識の向上と職場の活性が定着している。
- 地域の自治会や福祉法人等と協力・連携を率先、公益的な活動を推進している。
- 障害福祉を専門とするスーパーバイザーを新たに独立配置している。
- 利用者の高齢化・重度化に対応するための施設設備や職員の経験が不足している。

□基本理念

- 利用者の心と体をもっと大切に考え、自立と社会参加を援助することを基本理念としています。
- 温もりのある心と未来を見通す広い視野をもって、利用者一人一人の持つ能力や才能を存分に発揮できるよう努めます。

★ 職員全員で めざす龍鳳は…
笑顔で支え合い、成長できる場所！

□法人全体 中・長期的な目標

【利用者サービスの質の向上】

- 意思決定支援に基づいた利用者本位の支援実践と研究
- 将来を見据えた安全・安心な事業の展開
- 危機管理体制(BCP等)の確立

【法人職員・施設の活性化】

- 働く職員が専門性の高い技術や知識を身に付け、信頼性と高いサービスで自らの仕事に誇りを持って臨める研修教育制度の充実・拡充
- 「健康経営」実践のための組織を確立
- ICT技術を軸とした情報・記録のデジタル管理およびペーパーレス化の促進

【共生社会を目指す取り組み】

- 職員・地域と共に持続可能な社会づくりの遂行
- 多世代（高齢、障害、児童）と地域社会が共生できるための事業推進
- 「SDGs」誰一人取り残さない龍鳳独自の取り組みを促進

【権利擁護と虐待防止の取り組み】

- 虐待防止の更なる徹底（研修、キャンペーン、スキルアップ他）
- ハラスメント防止の徹底（セクハラ・パワハラ・マタハラ・スモハラ）

□法人全体 今年度の具体的な手だて(中心的な取り組み)

【利用者サービスの質の向上】

- 利用者本位の支援実践
- 高齢化・重度化対策を考慮した事業の運営
- より利便性の高い施設整備（長期修繕計画）
- 法人本部の危機管理体制の整備

【法人職員・施設の活性化】

- 専門分野の講師による職級・テーマに即した研修プログラムの策定
- 組織の活性化に繋がる健康経営プロジェクトの運営
- ICT化を促進し、紙媒体に依らないデータ一元管理体制の構築

【共生社会を目指す取り組み】

- SDGsの具体的な取り組みの設定と公表
- 地域協議・地域住民との連携再構築
- 新規グループホーム等の事業推進

【権利擁護と虐待防止の取り組み】

- 法人本部虐待防止委員会の運営
- ハラスメント防止のための啓発

□こぶし 今年度の具体的な手立て(中心的な取り組み)

【利用者サービスの質の向上】

- 脱施設化を目指した支援の実践
- 生活・活動の場としてのより良い環境の整備
- 清瀬事業所の業務や支援の平準化

【法人職員・施設の活性化】

- 高齢化重度化に対応できる技術・知識の向上
- 感染症やストレス等への健康対策の徹底
- 職員一人ひとりの業務効率化と生産性の向上

【共生社会を目指す取り組み】

- 地域社会との繋がりを重視した活動の展開
- 積極的権利擁護や障害者理解の推進及び外部発信
- 地域資源やボランティア等の積極的活用による開かれた施設化

□たんばぼ 今年度の具体的な手立て(中心的な取り組み)

【利用者サービスの質の向上】

- 利用者の意思と特性を踏まえた支援の実践
- 高齢化・重度化を見通した支援の推進
- 虐待防止と権利擁護に向けての取り組み強化

【法人職員・施設の活性化】

- 現場に活かす研修プログラムの実践
- BCPを活用した訓練や検証を行い、実効性のある計画を策定
- 記録システム、チャットを活用したコミュニケーションの拡充

【共生社会を目指す取り組み】

- 地域との連携・交流を充実、地域行事への積極的参加
- 障害者理解の推進の為、SNSを通した外部発信
- SDGsを視野に入れた活動や作業の推進

□法人全体 今年度の評価の努力指標(○)と成果指標(●:評価基準 A)

- 高齢化・重度化に対応した施設整備及び新規事業の推進
- 長期修繕及び新規事業の計画策定
- 危機管理体制の強化
- 本部BCP策定委員会の設置及び各事業所との危機管理体制の構築
- ICT化によるデータ共有・効率化の推進
- PC等デジタル機器の増設、規程関係書類のPDFによる情報共有の迅速化
- 健康経営プロジェクトの推進
- ストレスチェック実施、健康経営実践による「健康経営優良法人」の認定取得
- SDGsの具体的な行動目標の取り組み実施
- 取り組み内容のHP公表、地域住民との連携再構築
- 専門分野及びビジネススキル向上の研修実施
- 虐待防止研修の支援、職級に応じたビジネススキルの習得

□こぶし 今年度の評価の努力指標(○)と成果指標(●:評価基準 A)

【利用者サービスの質の向上】

- 利用者にとって必要な地域資源を使える・知る機会の保障及び生活者としての多様な経験の提供
- 自治会及び市内の人や資源を利用した交流機会の設定と参加 ●施設生活の充実
- 暮らす・働く場を意識した視点の習得
- 暮らす・働く場を意識した環境整備の実施と職員への働き
- ルールとマニュアルに基づいた標準化されたサービスの実施と事業所運営
- 各業務の整理と棚卸、マニュアル及びルールと役割分担の見直しと策定

【法人職員・施設の活性化】

- 高齢化・重度化に対応した支援技術習得、及び高齢化のリスクマネジメントの視点習得
- 必要な支援知識の習得と、介護技術の継続した学習 ●高齢化リスクの把握と対策の実施
- 時間と心にゆとりを持ち、笑顔の増える勤務環境作り
- クラスタゼロに向けての事前対策強化 ●健康経営の土台作り
- 職員の業務スキル向上による働きやすい環境構築及び業務のスピードアップ
- 業務整理表活用の見直しとタスク・スケジュール管理指導のための仕組み作り

【共生社会を目指す取り組み】

- 地域と共に行う「まちづくり」地域と施設のニーズの合致
- 障がい者を知って貰える取り組みの実施及び地域ニーズの掘り起こし
- 他施設の見本となる支援の継続的な実践
- 積極的権利擁護及び生涯発達視点を取り入れた支援の取り組み発信
- 第三者（成人・学生・生徒・児童等）の積極的な取り込みと交流機会の提供
- 第三者を施設内に取り入れる仕組み作り ●施設を地域資源の一つとして活用して貰える取組

□たんばぼ 今年度の評価の努力指標(○)と成果指標(●:評価基準 A)

【利用者サービスの質の向上】

- 個別支援計画に基づいた記録の充実とアセスメント・行動分析に基づいた支援の実施
- 目標達成にむけた記録の充実 ケース会議の充実（終礼・課会・研修等）
- 高齢化・重度化を配慮した個別マニュアルに基づいた支援の実施
- 個別マニュアルの見直しと確認 高齢化・重度化に対応できる支援技術の習得
- 虐待防止マニュアル（法人全体・たんばぼ）の周知徹底
- 未然防止対策の徹底 ヒヤリハットの原因追究と情報共有 虐待ゼロ

【法人職員・施設の活性化】

- 職員自ら前向きに課題解決に取り組む意識の向上
- 所内研修において、実践した成果を検証する機会を設定
- BCPの理解と具体的な業務洗い出し 手順や必要事項の明確化
- 安全点検の実施 避難訓練の工夫 緊急時の送迎ドライバー初期対応用マニュアル作成
- 職員間の報連相の充実 風通しの良い職場作り 健康経営の推進
- 統一支援や円滑な業務遂行のための情報共有の徹底 有効なチャット活用のルール作り

【共生社会を目指す取り組み】

- SDGsの事業所テーマ「地域とのつながりを深めよう」の実践
- 利用者や地域社会が繋がる機会を増やし、活動の幅を広げる。（開所日等の活用）
- 利用者の権利擁護への意識を高め、ポジティブな捉え方が出来る職員の育成
- SNSにて活動内容を掲載(各活動・作業担当が当番制で発信)
- SDGsについて、職員・利用者が取り組める活動を持続的に実施していく。
- 具体的実践内容（利用者工賃向上 職場環境改善 地球環境に配慮した事業活動等）

□こぶし 中・長期的な目標

<スローガン>

「働きやすい職場・支援サービスの質・先駆的な権利擁護の取組で東京No.1を目指す」

- どんな個別のニーズにも応えられる施設（断らない支援）
- 社会参加の機会拡充
 - ・氷川台自治会と連携体制の充実
 - ・利用者の地域生活者としての活動を提供
 - ・ボランティアの拡充
- 清瀬事業所の黒字化
- 毎日楽しく何でも言い合え、永く働き続けられる組織風土
- ライフステージに合わせた生活・活動の実現
- ムリ/ムダの削減による適正な予算・支出管理
- 重度化高齢化に対応した支援体制
- 先駆的な権利擁護体制の確立
- 災害・感染症に強い施設の確立
- 第三者評価の実施（※毎年・短期は3年毎）

□たんばぼ 中・長期的な目標

<スローガン>

「職員の輪を築き、地域とのつながりを深め、利用者ファーストを実現しよう」

- 個別の支援を充実させ、利用者の能力伸長と自立を実現
- 社会参加の機会拡充
 - ・練馬自治会および小中学校等との連携体制の充実
 - ・受注、受託ルートの拡大
 - ・自主生産品の開発と販路の拡大
 - ・ボランティアの拡充
- 利用者の自立に向けた情報提供と成年後見制度の推進
- 就B平均工賃 20,000円以上の支給
- 職員の連携を図り、多機能事業所の良さを生かす
- ムリ/ムダの削減による適正な予算・支出管理
- やりがいをもって働き続けられ、職員がスキルアップできる職場
- 虐待防止・権利擁護体制の確立
- 災害・感染症に強い施設の確立